

2024～2025 年度クラブ運営方針
「生み出そう感謝される喜びを」

国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB



2025 年（令和 7 年）6 月 11 日（水）
第 1680 回例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会

（重森 元樹 SAA）



●開会点鐘

（田畑 勝久会長）

●ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

●会務報告

（田畑 勝久会長）



皆さま、こんばんは。いよいよ本日を含め、今年度の例会も残すところあと 3 回となりました。

本日と来週は、各委員長より 1 年間の活動報告を行っていただきます。この 1 年間、各委員長のご尽力により、素晴らしい事業を展開することができました。心より感謝申し上げます。

り感謝申し上げます。

●幹事報告

（岡野 和弘幹事）



6 月 9 日（月）の 19 時より、翠鳳楼にて「第 115 回昭島 6 団体連絡協議会」が開催されました。田畑会長と幹事の私、岡野が出席いたしました。会では、6 団体間で情報交換を行い、親睦を深める有意義な機会となりました。

昭島ロータリークラブより、次年度の例会会場として「ホテルユミシアエミシア東京立川」および当クラブの現行例会会場である「西武信用金庫昭島支店」の 2 カ所を使用予定との案内がございました。詳細な日程につきましては、追ってご案内をいただく予定です。

す。

●卓話「各委員長活動報告 I」

若杉 司奉仕プロジェクト委員長



この 1 年間を振り返り、感じたことをお話しさせていただきます。まず、社会奉仕委員会の菅野委員長をはじめとする委員の皆さんには、「くじら祭」で大変なご尽力をいただきました。祭りは 8 月 24 日（土）・25 日（日）の 2 日間でしたが、実際にはその前日の

23 日（金）に設営、終了後の 25 日（月）は後片付けと、朝早くから実質 4 日間にわたる活動となりました。委員全体で力を合わせて取り組んでくださり、本当に感謝しております。

次に、青少年奉仕委員会の桜井委員長、そして委員の皆さんには、12 月に開催した野球教室でも多大なご協力をいただきました。単なる野球教室ではなく、豚汁を準備したり、デッドヒーターの設置、パスの手配など、多くの準備が必要でした。これも全会員の協力があったからこそ、無事に開催することができました。心より御礼申し上げます。

職業奉仕委員会では、3 月 26 日（水）に企業見学会を実施しました。訪問先は、星野会長の会社である扶桑建設様の「錦町マンション」。引き渡し直前のタイミングで、10 階建ての建物を約 30 名で見学させていただきました。監督さんたち 10 名ほどが案内してくださり、とても貴重な体験となりました。

国際奉仕委員会の志賀委員長を中心とした「モンゴルへの子供用車椅子プロジェクト」では、車椅子の整備を年間を通じて 5 回ほど実施し、贈呈式に向けた準備を丁寧に重ねてくださいました。4 月 15 日（火）から 21 日（月）にかけて、2 名が現地入りし、その後、弾丸ツアーで 3 名、さらに森田さんも加わり、合計 6 名でモンゴルに渡航し、贈呈式に参加してまいりました。

私がこの一年間を通じて強く感じたのは、「奉仕は一人ではできない」ということです。各委員会での綿密な打ち合わせ、炉辺会議での議論、そしてクラブ全体の協力体制などこうした積み重ねがあったからこそ、奉仕活動が形になるのだと、改めて実感しました。

菅野 晋央社会奉仕・環境保全委員長



今年度の活動報告をさせていただきます。まずは、8 月 24 日（土）・25 日（日）に開催されました「昭島市市制施行 70 周年記念 くじら祭」への参加です。このイベントに向けて、まず 8 月 20 日（火）に「大くじら」の組み立て作業を行

い、16名の会員の皆様にご参加いただきました。続いて8月23日（金）、祭り前日の事前設営には20名の会員の皆様のご協力くださり、無事に準備を整えることができました。そして24日（土）・25日（日）の本番では、会場での運営にもご協力いただき、多くの方に楽しんでいただけたことと思います。

次に、3月14日（金）には、田畑会長、岡野幹事と共に、昭島市社会福祉協議会へ医療用防護服を贈呈してまいりました。さらに、4月14日（月）には、日の出町および武蔵村山市の社会福祉協議会にも同様に防護服を寄贈いたしました。

また、4月13日（日）には「多摩川クリーン作戦」が予定されておりましたが、残念ながら当日は雨天により中止となりました。

寺木 正人 職業奉仕委員長



これより、職業奉仕委員会の活動報告をさせていただきます。今年度の職業奉仕委員会の基本方針といたしましては、クラブの事業計画書に記されたとおり、「職業上の高い倫理基準の理解と奨励」、「すべての役立つ仕事に価値があるという認識」この2点を主

軸に据えて活動を進めてまいりました。実のところ、「職業奉仕とは何か？」という基本的な問いからスタートし、委員会の中でも何度も話し合いを重ねました。

事業計画としては次の2点を掲げておりました。1つ目は、職業奉仕活動の一環としての「事業所見学」。2つ目は、会員の皆様にご自身の事業内容を紹介していただき、相互理解を深める機会を設けるというものでした。このうち、1つ目の「事業所見学」についてご報告させていただきます。開催に先立ち、約1週間前に炉辺会議を開き、委員会メンバー8名とともに、会長・幹事にもご出席いただき、当日の流れや安全面等について協議し、実施の承認をいただきました。

見学会は3月26日（水）午後2時から4時までの2時間にわたり、私どもの会社が施工を担当している立川市錦町二丁目の分譲マンション建設現場にて開催いたしました。この見学会の準備にあたっては、初代理事長である星野会長にも早い段階からご相談させていただいておりましたが、なかなか現場のタイミングが合わず、最終的に引き渡し直前の現場を見ていただくこととなりました。今回の現場は10階建て・全37戸（1LDKおよび2LDK）の分譲マンションで、同一の間取りを上下階に繰り返し配した設計となっております。当日は29名の方々にご参加いただき、A班からF班まで6つのグループに分け、それぞれに弊社の社員を2名ずつ配置し、丁寧にご案内させていただきました。見学エリアは上階の8・9・10階で、眺望や仕様などをじっくりとご覧いただきました。ご参加いただいた皆様には、マンションの購入者や入居者の視点でご質問をいただき、スタッフが分かる範囲で丁寧にお答えいたしました。なお、引き渡し直前ということもあり、皆様には手袋とスリッパを着用していただくなど、いくつかご不便をおかけしましたが、快くご協力いただきありがとうございました。

この見学会を通じて、当初の基本方針である「職業上の高い倫理基準」や「役立つ仕事に価値があるという認識」がどれだけ伝わったかは、正直なところ分かりません。しかし、私たち施工側の立場としては、協力会社・専門工事業者・現場の職人さんたちの誇りと責任感、そして高い倫

理観が、この建物の中に確かに表れていたと感じております。今回、真剣に見学してくださった皆さまに、心より感謝申し上げます。

一方で、事業計画に掲げていたもう一つの取り組み——「会員による事業紹介」については、残念ながら今年度は実施することができませんでした。今後の委員会活動の中で、改めてご検討いただければと思っております。

志賀 義任 国際奉仕委員長



本日は国際奉仕委員会の活動報告をさせていただきます。本年度のメイン事業は、モンゴルへの子ども用車椅子の寄贈プロジェクトでした。このプロジェクトに関しては、2024年4月1日（月）に地区補助金の申請を完了し、6月に承認をいただきました。

実際の活動としては、9月15日（日）と10月13日（日）の2回にわたり、多くの会員の皆様にご参加いただいて、車椅子の整備作業を行いました。その結果、40フィートのコンテナに107台の子ども用車椅子を積み込み、モンゴルに向けて発送することができました。さらに、贈呈式に出席するため現地に向かう際に、ハンドキャリアでもう3台の車椅子を持参し、合計で110台を贈呈することができました。

贈呈式は、2025年4月18日（金）・19日（土）の2日にわたって、モンゴル現地で実施されました。この「弾丸ツアー」には、若杉奉仕プロジェクト委員長、指田前幹事、そして協賛企業である扶桑建設の上越常務にもご同行いただきました。この場を借りて、心より御礼申し上げます。贈呈式の場で、子どもたちが実際に車椅子を使い、笑顔で喜んでいる姿を目の当たりにし、「この活動をして本当に良かった」と心から思いました。

来年度は、ラオスを対象とした車椅子支援活動が計画されていると伺っております。私自身も引き続き、この活動に携わり、協力してまいりたいと思っております。この一年間、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

佐々木 稔郎 長期計画委員長



長期計画委員会の報告をさせていただきます。長期計画委員会の基本方針は、「奉仕の精神を自覚し、社会の中で何ができるか、どのように実行するかを考え、実行に移すこと」であります。その方針のもと、今年度もさまざまな活動を行いました。

まず、昨年末の12月29日（日）から30日（月）、そして1月3日（金）から6日（月）まで、計6日間にわたりお弁当の配布活動を実施いたしました。昨年は300食ほどの提供でしたが、今年は延べ600食を配布することができました。お弁当は、子どもには無料、大人には300円で提供しました。ですが、子どもにとってはお弁当だけでは物足りないという思いもあり、今年は100人分のお菓子の詰め合わせを別途用意しました。また、「わくわく広場」さんのご協力により、野菜の提供もいただき、それを詰め合わせに加えることもできました。配布した600食のうち、8割が子どもたちだったという点からも、この活動の意義を改めて感じております。

ただ、年の瀬にこのようなお弁当で年を越す子どもたち

のことを思うと、胸が痛みます。将来的には、お餅や年越しそばなど、少しでも「年末らしい」食の提供ができればと思っておりますが、予算面の課題もあり、すぐには実現が難しい状況です。

次に、児童養護施設への支援として、例年通り 50 名分のお菓子の詰め合わせ（1 人あたり 2,000 円相当）を贈呈いたしました。また、毎月 1 回実施している子ども食堂への支援も、多少の中断を経ながらも、なんとか継続できております。この活動は、必ずしも当委員会が直接運営しているものではありませんが、長期的視点から支援を継続するという名目で関わらせていただいております。

もしこのような活動に関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひともご協力をいただけましたら幸いです。

鈴木 栄 SAA



SAA（会場監督）としての本年度の活動報告をさせていただきます。7 月 4 日（木）、初例会の翌日に、SAA メンバーによる顔合わせ会（炉辺会談）を、寿司肴成田屋にて開催いたしました。会長・幹事をはじめ、SAA メンバー 6 名にご参加いただき、会の運営に関する打ち合わせを行いました。

この場で、例会の司会進行の手順や担当日をまとめた資料を作成・配布し、年間を通じて司会を持ち回り制（年 5～6 回）で担当する体制を整えました。

1 月 22 日（水）西武信用金庫での例会に先立ち、会場の備品等の確認を行い、不足している物品の準備をいたしました。1 月 31 日（金）荒川 SAA と水田会員の協力のもと、スクリーンボックス、ロールスクリーン、吊り下げ用のバーを設置いたしました。作業は夜 6 時頃までかかりましたが、竹内支店長のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

2 月 3 日（月）昭和館に残っていた備品を搬出し、新会場である西武信用金庫に搬入いたしました。多くの会員の皆さまにお手伝いいただき、2 時間ほどで完了することができました。ありがとうございました。2 月 5 日（水）新会場での初例会を無事開催いたしました。

このような形で、SAA として 1 年間活動してまいりました。残すところあと 2 回の例会となります。来週の司会は岸川 SAA、そして最後の例会では私が司会を担当いたします。最後までどうぞご協力のほど、よろしくお願いいたします。

西 優希広報・会報・IT 委員長



委員会としての活動報告をさせていただきます。今年度の基本方針として掲げたのは、「会員が参加しやすい雰囲気づくりに努め、出席率の向上を目指す」というものでした。他の委員会とも連携を密にしながら、例会や各種ロータリー行事への積極的な出席を促すことを目指して活動してまいりました。

～主な活動内容～

☆例会出席率の集計・発表

出席委員会として、例会ごとの出席率を集計・共有し、参加への意識を高める工夫を続けてまいりました。

☆例会案内の送付と出席の事前確認

例会のプログラムとともに案内メールをお送りし、その末尾に QR コードを掲載することで、出席の事前確認をスムーズに行えるようにいたしました。このフォームを通じて、年間でのべ 150 件以上のご回答をいただきました。

☆メイクアップの推進

仕事のご都合で出席が難しい方も多い中で、各会員の皆さまがスケジュール調整に尽力してくださり、出席率維持に大きく貢献いただきました。

会場が西武信用金庫に移ってからは、竹内支店長が毎回私より早く来て準備にご協力くださり、大変支えられました。また、委員の皆さまも多忙な中、可能な限り協力をいただき、本当に感謝しております。例会案内に対しては、FAX での回答も毎回 4～5 件ほどありました。FAX をお持ちでない私に代わり、毎週ご連絡をくださった菅野委員にも、心よりお礼申し上げます。加えて、LINE でのやり取りなども活用し、出席予定者の情報共有を迅速に行えるよう工夫してまいりました。

例会場の変更に伴い、お弁当の数の把握がこれまで以上に重要となりました。ご協力のおかげで、大きな混乱なく対応できております。本日は、このようなご報告をしているにもかかわらず、当日欠席が多いという珍しい日になってしまいましたが、今後も急なご欠席の際は、どうぞ LINE または出席フォームにてご一報ください。

1 年間、あっという間でしたが、皆さまの温かいご協力に心より感謝しております。ありがとうございました。

重森 元樹プログラム委員長



まず、本年度のプログラムを無事に終える見通しが立ちましたことを、ご報告申し上げます。ご協力いただいた皆さまに心より感謝いたします。ありがとうございました。

本年度は、皆さまのお力をお借りしながら例会の企画・運営に取り組んでまいりました。中野さんや星野会長をはじめ、季節ごとの企画にご登壇いただき、充実したプログラムを組むことができました。

また、会員の皆さまに卓話のご協力もお願いし、実現できましたことを嬉しく思います。具体的には、中野会員、内藤パスト会長、西さんによる卓話を実施していただきました。先日、星野会長よりご指示をいただき、次年度へのプログラムの引き継ぎも完了しております。来年度も引き続き、プログラムの構築に協力してまいります。

私自身の反省点として、すべての委員の皆さまに対して十分な連絡・共有ができなかったことが挙げられます。これは若杉会員も同様に感じている部分であり、次年度は社会奉仕委員長を務めさせていただくことになりましたので、この点を改善し、よりよい運営に努めてまいります。

●二コニコ BOX

(磯野 昇親睦副委員長)



◎田畑会長
各委員長、活動報告よろしくお願いします。

○岡野幹事
各委員長の皆様、1年間の活動報告ありがとうございました。

○桜井会員
各委員長の皆様、委員長報告よろしくお願いいたします。

○水田会員
各委員長の皆様、1年間ありがとうございました。
委員長報告よろしくお願いいたします。

○宮下会員
委員長の皆様、1年間お疲れ様でした。

●出席報告

(中藺 裕出席副委員長)



会員数 53 名
出席義務会員 53 名
本日の出席 28 名

●次週例会予定

(宮下 幸司プログラム委員)



6月18日(水)
各委員長活動報告②

●閉会点鐘

(田畑 勝久会長)